

# 令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：2019年12月12日

伊丹市立天神川小学校

(学級数 29学級、児童数 727人)

## 1 本年度の取り組み状況（11月末現在）

- (1) 研究全体会：今年度の研究についての共通理解  
校内研究会：3年算数（6月）2年生活科（10月）6年国語（11月）  
研修会：学力向上・人権教育・情報教育・英語・生活指導（不登校・スマホ依存）
- (2) オープンスクール（保健教育参観）【令和2年2月8日（土）予定】

## 2 めざす学校像 「命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校」～誇りに思える学校～

- (1) 子どもたちが毎日楽しく登校できる学校
- (2) 保護者、地域が自慢できる学校
- (3) 教職員が仕事にやり甲斐と誇りが持てる学校

## 3 めざす子ども像 ～自信と笑顔にあふれる子ども～

- (1) 命輝く子 : 自分の夢を生き生きと語れる子
- (2) 心豊かな子 : 美しいものに感動し、思いやりの心を持つ子
- (3) 意欲的に学びあう子 : 互いに認め、励まし、高め合う子

## 4 めざす教師像 ～熱意と指導力を持つ教師～

- (1) 子どもに寄り添い、共感しながら子どもの力を高める教師
- (2) 豊かな感性を持ち、自己研鑽に励む教師
- (3) 認めあい、高め合い、協働して取り組む教師集団

## 5 我が校の特色

- (1) 学校運営協議会を核として保護者・地域・各関係機関と連携した安心・安全な教育環境作りの実践と幼小中連携の推進
- (2) 地域の力を活かした体験活動や学校支援活動、スポーツ21を中心とした体育的活動の実施
- (3) ユニバーサルデザインを取り入れた、わかる授業の提供と教師の指導力の向上を目指した研究
- (4) 地域の文化・福祉施設での催しや行事への児童・教職員の積極的参加

## 6 我が校の研究概要

- (1) 研究主題「伝え合い、学び合う子をめざして  
～みんなが主体的に参加できる学びの場づくり～」  
講師 森ノ宮医療大学 教職支援センター 教授 阿部 秀高先生
- (2) 伝え合い→自分の考えを持つ＝価値を生み出す→交流（共有）  
学び合う→考えを深める＝教師の揺さぶり→思考のポイント  
めあてにかえって振り返りをする
- (3) 令和2年11月27日（金）市内発表予定 全教科

## 7 学力向上に向けた取り組み

- (1) 全国学力・学習状況調査実施後の校内研修で、本校児童の実態を全職員で共通理解し、授業改善を図る
- (2) めあて・ふりかえりの徹底（考える場づくりの工夫）
- (3) ユニバーサルデザインを意識したわかりやすい授業作り
- (4) 生活習慣・家庭学習習慣の定着（すくすくチェックや自主学習ノートの活用）
- (5) 土曜学習教室の実施（年間17回、漢字・算数検定、理科・英語・音楽講座等）

(6) 放課後学習教室の実施（毎週水曜日）

## 8 教職員の勤務時間の適正化に向けた取り組み

- (1) 週1回の定時退勤日、週1回のノー残業デーの実施
- (2) 共有フォルダ・校務支援ソフト・ペーパーレス会議等による事務や会議の時間削減
- (3) 労働安全衛生委員会を中心に健全な職場環境整備の推進
- (4) 教職員ルールブックの活用

## 9 今後に向けて

- (1) 『授業改善』『危機管理』を念頭に、教職員一人ひとりが子どもたちに真摯に向き合い、校内研究を中心に自己の資質、授業力の向上を目指すことのできる同僚性の高い教職員集団を形成する。
  - ① 学校カアップシート（GUS）を一人ひとりが作成して、学校長との面談で、本年度の重点目標を確認し、実践する。
  - ② 日常から、危機管理・対応に高いアンテナを立て、必要に応じて、ケース会議・関係委員会を開き、迅速な解決につなぐ。
  - ③ 組織的に動く事を意識し、学校全体で取り組む良さを生かす。
- (2) 家庭・地域・関係機関との連携を強化し、児童・保護者・職員・地域が「誇りに思える学校づくり」を推進する。
  - ① 必要に応じて、関係機関と連絡を密に行う。
  - ② 学校運営協議会を核として、学校の現状や課題を共有し、改善を図る。

伊丹市立天神川小学校 校長 津田 康子

我が校のHPのアドレスは・・・ <http://www.s-tenn.itami.ed.jp/>